

仕事と地域に春を呼ぶ

第8号

3.29府民のつどい ニュース

2009年3月31日
発行：京都総評事務局
発行責任者：岩橋祐治
編集責任者：辻昌秀
京都市中京区壬生仙念町
30-2 ラポール京都5F
Tel. 075-801-2308
Fax. 075-812-4149
E-mail: sohyo@labor.or.jp

連帯の力で生活危機を突破しよう！ 梅小路公園に5千人集う

仕事と地域に暖かな春の風を



梅小路公園芝生広場を府民の怒りの要求でそめました

今こそ国民最優先に！

今日の不況は、この間の新自由主義、「構造改革」・規制緩和路線がゆきづまり、破綻したことの現れであり、その帰結です。この危機を突破していくには、新自由主義、「構造改革」・規制緩和路線からの根本的転換が必要です。そして憲法がくらしに生かされる国民生活最優先の政治と経済に転換していく必要があります。外需頼みから内需主導へ、労働者の雇用を安定させ、賃金・労働条件を改善していく必要があります。そして医療・介護・福祉・年金などの社会保障制度が持つセーフティネットの機能を回復させ、教育を充実していく、日本経済の主役である中小企業や業者、地場・伝統産業、農林漁業を育成し、それらを通じて地域経済を再生していく必要があります。確信を持って、今回の不況打開、くらしと雇用・営業の危機突破をめざす、府民各界・各層との「対話と共同」を大きく進めていこうではありませんか！



3月29日、梅小路公園芝生広場で、「仕事と地域に春を呼ぶ3・29府民のつどい」を京都総評などで行った。約5千人が参加した。集会にさきがけて主催を代表した岩橋祐治京都総評議長のあいさつにつき、コント集団ザ・ニューズペーパーのパフォーマンスをはじめ、反貧困のたたかいから舟木浩介護士、社会保障のたたかいから岡田楠彦さんから連帯のあいさつをいただきました。

また、たたかいの報告として「非正規雇用・派遣切り」にたいするたたかいの報告、「春を呼ぶ連帯ひるば」相談会の報告とよびかけ、丹後のたたかいの報告（営業と教育の分野）がありました。

丹後のたたかいで高校生入学の定員数を増やしたたたかいの報告をした奥丹教組橋本のり子書記長は、「子ども・保護者・教職員・地域が連帯してあきらめずにつたかえば、かならずどんな困難でも突破できる」と子どもからの手紙を紹介しながら発言しました。

集会後は、梅小路公園から北・東・西の3つのコースからデモ行進をしました。

雇用・営業、生活の危機を突破しよう！

各地に怒りの共感広がる！

北コース

公園大宮口 七条大宮
四条大宮
(公務労組が参加)



西コース

公園七条口 七条通西進
七条大宮南進 西大路八条
民間労組、地域、市民団体



東コース

公園七条口 七条通り東進
七条烏丸 東本願寺付近
府北部の参加者と京建労





くらし・雇用、営業の 危機突破をめざし、 「対話と共同」をすすめよう

府民のつどいアピール

今日の経済危機を自然災害のように言う人々がありますが、そうでしょうか。労働者を解雇し、下請け企業や地域経済を切り捨てながらもうけをあげ、国民の生活は切り捨てられる、そんな「国づくり」が行き詰まったのです。「もう横暴・勝手は許さない！人間らしく生きることができる社会をとりもどそう」これが私たちみんなの声です。

私たちは、雇用破壊に反対し、暮らしと営業を守れと、「年越し派遣村」に連帯して、相談会や炊き出しをすすめてきました。そして、「労働者を路頭に迷わせるな」と国や行政に働きかけてきました。

雇用と生活を守るため、多くの労働者がたたかいに立ち上がっています。「仕事と資金を」と中小・業者も仕事おこしとセーフティネット保証を求めています。子どもたちの学びを保障しようと大人が立ち上がり、それを見て、子どもたちががんばり出しました。それは、「自己責任」と分断の社会を大きく変える、人間性と勇気にあふれた、あたたかい連帯の姿そのものです。

今日、ここ梅小路公園にあつまった私たちは、呼びかけます。苦しんでいるのはあなた一人ではありません。いまこそ、力をあわせましょう。知恵を寄せ合って、社会を動かす連帯を広げましょう。そして、憲法が生きる社会をみんなでつくりましょう。

「一人の仲間も路頭に迷わせない」仕事と地域に、みんなの力であたたかい風をふかせようではありませんか。

2009年3月29日
「仕事と地域に春を呼ぶ
3・29府民のつどい」参加者一同

連帯のあいさつ



私は、反貧困ネットワークで活動しています。反貧困ネットワーク京都を年内に結成させます！

反貧困ネットワーク京都準備会 舟木浩弁護士

後期高齢者医療制度を何としても廃止させよう！



高齢者医療制度廃止京都連絡会 岡田橋彦医師

たたかひの報告



私は、派遣切りをされてたたかってきましたが、政治を変えない限り労働者の苦しみは解決しない。労働者派遣法を98年以前に戻すべきだと思います。

上梅（かみかこい）浩司さん

1月から計4回開いたホームレス、失業者支援の炊き出し・相談会にのべ355人が来所。今後の支援拠点づくりの必要だ！



京都市職労 南書記次長



丹後における業者の売り上げ減の厳しい状況の報告

丹後民商 土居重直副会長

中学3年生16人が定員以上公立高校に合格し、2次募集もあり、丹後の中学3年生で進路が決まらない生徒はゼロ。運動の成果だと思います。



奥丹教組 橋本まり子書記長

憲法がくらしに生かされる
政治と経済に轉換しよう！



ザ・ニュースペーパーによる麻生首相。梅小路を「マイイ」小路に読み違え？会場を爆笑の渦に巻き込んでいました。



集会にさきかけて、争議団の紹介(上)と、今年、京都で実施される母親大会(右)とうたごえ祭典(下)の訴えがありました。



前夜の宣伝に 青年40人以上集まる



府民のつどい前日の28日、京都総評青年部のよびかけで三条河原町で集会参加のよびこみ宣伝を実施しました。宣伝には、青学連や中田過労死裁判ネットなどの青年もたくさん参加し、集まった数は40人以上。宣伝は大変な盛り上がりで、1時間の宣伝で150筆近い署名が集まるなど、町の雰囲気を一変させていました。